

CASBEE神戸ver.2

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

{使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-0D_NC_2014(3.1)}

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ東灘区岡本3丁目	階数	B1F地上6F
建設地	神戸市東灘区岡本3丁目77番1、77番2	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第3種高度地区	平均居住人員	162人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	1,638 m ²	作成者	瀬戸本淳建築研究室 安垣
建築面積	920 m ²	確認日	
延床面積	4,882 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.2**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.3**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.6**

Q3 室外環境 (敷地内) **Q3のスコア = 2.8**

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.1**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.2**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.1**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.2**

3 CASBEE神戸 の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.0	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。	配慮の概要 建築基準法に定められた耐震性を有する。熱源の分散化を行っている。	配慮の概要 植栽により、良好な景観を形成している。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される